

新型の体外衝撃波結石破砕装置を導入致しました

今回、日高病院では従来の体外衝撃波結石破砕装置(ドルニエ社 HM-3)に加えて、平成17年11月より、ドイツ ドルニエ社の第三世代装置である最新型体外衝撃波結石破砕装置(リソトリプターD)を導入しました。

本装置の特色は・・・

- ① 治療中の痛みが少なく、結石の種類・大きさにより衝撃波の強さをきめ細かく調節できます。
- ② 電磁誘導方式という衝撃波発生装置で強力な破砕力を有しています。
(有効率は95%であり、従来のタイプに比べて遜色ない破砕効果を持ちます)
- ③ 従来の破砕装置に比べて小型化しています
- ④ 無麻酔治療が可能です
- ⑤ X線装置・超音波装置を併用することで、レントゲンでは分かりにくい結石も迅速かつ、正確に結石の位置を確認し、安全かつ確実に破砕を行うことが可能であり、治療中はリアルタイムに結石の位置・破砕状況を把握できます。
- ⑥ ベッドに約1時間よこになっていただくだけで、破砕が終了します

他、従来の体外衝撃波腎尿管結石破砕術(ESWL)の特徴(体に傷がつかない・副作用が少ない・入院期間が短く退院後の日常生活復帰や職場への復帰が可能である)も網羅しております。

今まで当院で使用していた機種と組み合わせることで、様々な尿路感染に対して多角的に治療を行うことも可能となりました。

当施設では、尿路結石症診療ガイドラインに基づき尿路結石の治療を行っており、ESWLの治療以外にリトクラスト(空圧式結石破砕装置)を用いて経尿道的尿管結石術(TUR)、経皮的腎破砕石術(PNL)の施行も可能であり、切らずに治療する事を目標に掲げて積極的に尿路結石の治療を行っております。

今後は、最新式の装置を用いた外来での結石破砕装置の早期実現や病院間での結石破砕治療に関するクリニカルパス導入も検討していく予定です。

泌尿器科医長 増田 広

リハビリテーションツアーに行ってみました

平成17年11月26日～12月4日にニュージーランドに行ってきました。当院は昭和62年から、国内・海外旅行を企画し、患者様とともに『旅は最高のリハビリ』というスローガンのもと、自立への第一歩となるようお手伝いをさせて頂いております。今回は、患者様・ご家族・スタッフ総勢13名でニュージーランドの大自然に飛び込んで来ました。患者様からは、『ほんのちよつとの勇気を出せばこのような体験ができる・自信がついた』などうれしい感想を聞くことが出来ました。今後は、さらに広く参加者を募るようにしたいと考えております。



高崎市在宅介護支援センター 磯部 啓子

新高尾小学校で車椅子学習会をしました

平成17年12月9日 午後2時30分から新高尾小学校で、小学5年生を対象に授業の一環として車椅子講習会を致しました。将来、私達がお世話になる世代ですので、講習会にも力が入りました。車椅子をはじめて操作する児童が大半を占めていましたがとても器用に操作していました。担任の先生方も、車椅子操作の初体験ということで、児童・先生方とともに楽しい有意義な時間を過ごすことが出来ました。

病診連携室 長谷部 純

10月・11月の紹介率・平均在院日数など

紹介実績・救急患者等	10月	11月	備 考
紹介率	80.8%	80.3%	紹介状を持参した患者数を初診数で除した数字です
救急搬送数	141件	175件	1日平均救急搬送数が5台～5.8台となっています
紹介数	302件	299件	紹介状を持参した患者数です
逆紹介数	109件	132件	診療情報提供書を記入した数です(同法人宛は含まない)
平均在院日数	11.5日	11.6日	一般病床の平均在院日数です(回復期リハ病棟は含まない)